

会 議 議 事 録

1 会議名	令和6年度第1回長岡市文化財保護審議会
2 開催日時	令和6年8月23日(金) 13:30～
3 開催場所	さいわいプラザ5階 501会議室
4 出席者名	<p>審議会委員</p> <p>平山委員長、三富副委員長、加賀谷委員、田中委員、鳴海委員 長谷川委員、羽鳥委員、深澤委員、星野委員、西田委員</p> <p>委員以外の出席者</p> <p>(事務局＝科学博物館)</p> <p>金垣館長、神保館長補佐、田中総括副主幹、鳥居係長、 小林主査、山賀主査、田中学芸員</p>
5 欠席者名	なし
6 議題	<p>(1) 正副委員長の互選</p> <p>(2) 新出の村松村「河村検地帳」について</p> <p>(3) 「長岡市文化財保存活用地域計画」について</p> <p>科学博物館企画展見学</p>
7 審議結果の概要	<p>(1) 正副委員長の互選 委員長 平山委員 副委員長 三富委員</p> <p>(2) 新出の村松村「河村検地帳」について(資料No.1) 概要を事務局より報告</p> <p>(3) 「長岡市文化財保存活用地域計画」について(資料No.2) 概要を事務局より報告</p>
8 審議の内容	<p>(1) 正副委員長の互選 委員長に平山委員、副委員長に三富委員が選出された。</p>

<p>委員 事務局</p>	<p>(2) 新出の村松村「河村検地帳」について (資料No.1) 河村検地帳は当初何冊あったと想定されるか。 検地帳は現存していないが、越後国内の各村で検知が実施されたものと考えられる。</p>
<p>委員 事務局</p>	<p>各地域の資料の保存が難しくなっていると思うが、各地域に残して保存していくのか、一括で集めて保存していくのかなど方針や体制はどのようになっているのか。 原則としては、現地保存現地活用であるが、特に個人蔵だと代替わりや跡継ぎの問題で維持管理が難しくなっている。そのため、「現地」という範囲の考え方が広がらざるを得ない。 文化財が散逸することがないように、科学博物館と文書館と情報を共有しながら保存継承していきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>蔵を持っている方は多いが、古くなったり災害などで傷んだ時に文化財に関心がないまま解体されていることが多くなっている。情報を発信して、文化財が失われないようにしてもらいたい。</p>
<p>委員 事務局</p>	<p>(3) 「長岡市文化財保存活用地域計画」について (資料No.2) 保存活用地域計画の具体的な内容はどのようなものか。 現在、保存活用地域計画策定協議会で案を作成しているところである。ある程度の案ができた段階で報告したい。</p>
<p>委員 事務局</p>	<p>今後の文化財保護審議会への報告はどのような予定になっているのか。 今年度の次回の文化財保護審議会で、その時点でできている内容を報告し、ご意見をいただきたい。 令和7年度中にほぼ全体の内容が固まるため、その時点で改めて報告する。</p>
<p>委員 事務局</p>	<p>保存活用地域計画に文化財保護審議会がどのようにかわるのか。 文化財保護審議会と保存活用地域計画策定協議会の役割が違うため、保存活用地域計画について直接審議いただくことはないが、文化財保護審議会に保存活用地域計画の策定の経過報告をするなかでご意見をいただくことにしたい。</p>

委員	<p>保存活用地域計画が文化財を巡りながら、観光も楽しめるような内容になるといいと思っていた。策定協議会のメンバーに様々な分野の方が入っているのでいい計画ができると期待している。</p> <p>また、文化財の周知について、文化財の写真だけあっても子供たちには伝わりづらい部分もあるので、動画などの他の方法でも周知して行ってほしい。</p>
委員	<p>山古志の民具については、中越地震後に整理され保存はできている。しかし、活用までできていない。他の文化財についても保存・活用がどこまでできていて、今後どのようにしていくのかを保存活用地域計画に盛り込めるといいと思う。</p>
<p>9 会議資料 別添のとおり</p>	